

## 東北大学大学院工学研究科学位論文に係る評価に当たっての基準

### ○修士論文の評価基準

#### (ア)満たすべき水準

高い倫理観と責任感を持った上で、研究課題の本質を理解し探求できる幅広い基礎知識と基礎学力、専門分野に関する深い知識、専門分野に関連した学際的知識、異なる専門分野の知識の統合によるシステム設計能力、研究の課題設定と課題解決能力及びその基礎となる豊かな学識を有することを証示するに足るものであること。

#### (イ)評価項目

- ① 論文の主題を究明することに学問的な必要性が認められる。
- ② 研究対象である主題に即した研究方法が選択・明示されている。
- ③ 専門分野における知識・技能及びそれに関連した学際的知識を修得しており、自立して独創的な研究を遂行する能力を有していることが示されている。
- ④ 研究対象に関連する文献・資料を的確に収集・処理・引証し、その出典が明確に示されている。
- ⑤ 論旨が明快で一貫しているとともに、適切な表現・表記法によって論述されている。
- ⑥ 既存の研究には見られない独創的な分析、解釈、提案等を行っている。

#### (ウ)審査委員の体制

審査委員は、本研究科を組織する講座等に属する専任の教授である研究科担当教員 2 人以上とする。ただし、本研究科委員会が必要と認めたときは、本学大学院研究科担当教員及び他の大学院等の教員等を加えることができる。

主査は、工学研究科委員会において認めた指導教員から定める。

#### (エ)審査の方法

- 修士論文を提出した者に対して、論文審査及び最終試験を行い、上記の評価項目により総合的に評価する。
- 最終試験は、修士論文を中心として、これに関連のある専攻分野について、口頭試問により行う。